

香大医学部看護学生の在宅訪問ボランティアについて

R 1.8.24 運③

R1.6.20 話し合いの記録（岩本宅）

1 取り組みへの期待

本年度は、学生の思いを大切に訪問ボランティアを試行的に取り組み、将来的に無理なく継続して取り組める体制ができることを期待しています。

●清水教授より（責任者）

- ・看護学生の資質の向上をめざし、ボランティア活動に取り組んでいます。海外でのボランティアを進める中で、学生より身近な場所で在宅訪問ボランティアがしたいとの希望が出てきました。
- ・訪問ボランティアは、ボランティアサークルの学生が中心で、香川大学医学部に認められたサークル活動の一環として、サークル顧問の指導のもとで活動しています。
- ・学生の活動の保障は、ボランティア保険が対応します。
- ・保健師実習で東讃から西讃まで行っているのので、県内は大体訪問できます。
- ・清水先生のもと、最低5年は続けたいが後は後任に委ねる予定です。
- ・大学の臨床心理士に心のケアで協力してもらえるよう働きかけたい。心理学科教授で関心のある方もおられるが、疾病の理解などがまだ十分でないため、今後連携を深める予定です。

2 訪問ボランティアを進めるにあたって

(1) 第1次訪問ボランティア（事前体験）

- ・日時 7月20日（日）10:30～11:30 ※必要があれば複数回実施
- ・対象 岩本宅にて文字盤練習（コミュニケーションの練習）、新聞等の読み聞かせ等
- ・参加 訪問ボランティア希望者（2～3人）

(2) 第2次訪問ボランティア

- ・日時 8月以降
- ・対象 2～3名（岩本、綾川町役員※未）、必要なら会員1名（高松or坂出）希望確認

(3) 確認させてほしい内容（次年度以降の見通しをもつために）

- ・現在のボランティア希望人数は？
中心メンバーは3年生が5人くらい。徐々に増加している。
3年生は後期臨床実習のため2月中旬まで稼働があまりできない。2年生へのリクルートはまだ十分ではない。今後2年生へ広報していく予定。
- ・訪問可能な地域（市・町）は？ … 県内どこでも可
- ・対象患者の症状の程度は？ … 症状の程度は問わない
- ・ボランティア内容は？ … 今回は新聞の朗読、おしゃべり等
※将来的には楽器演奏、歌唱等検討してほしい。

※学生のみで患者の体に触る内容はしない。ただし、家族や訪問看護師の補助的ポジショニングは可

- ・期間 … 3年生（9月以降は試験、実習等で難しい）、その間2, 4年生で実施
- ・日時・曜日 … 1時間程度まで、訪問日は相談
- ・訪問回数 … 希望があれば複数回も可
- ・移動手段 … 自家用車

3 受入患者・家族の確認・連絡調整

○7月末までに（岩本）

- ・上記在宅役員等に希望の有無、内容、希望日時、写真撮影等を確認します。
 - ・確認が取れた場合は、氏名、住所、連絡先、日時・内容等を清水先生に連絡します。
 - ・以後は、希望患者・家族と直接連絡（清水先生 or 担当学生）してください。
 - ・了解を得ている場合は、記録写真の撮影（ボランティアの様子）をお願いします。
- ※学生は、年度始めに文書で肖像権の承認を担保している。

4 注意事項

- ・ボランティアは、安全上家族（介護者）がいる時に行ってください。
- ・訪問中、家族の依頼（補助）で患者に触る場合は、十分気をつけてください。
- ・訪問時は、交通安全等に十分注意し移動してください。

5 まとめ

- ・都合のよい時期に、学生、患者・家族の感想等を情報交換しませんか。